

母子を感染症から守る

～ジカ、トキソプラズマ、梅毒を中心に～

期日：2016年3月23日（水） 15:30～17:45（受付15:15）

会場：国立国際医療研究センター（詳細は参加者にお伝えします）

参加無料・事前申し込み制（先着30名）

対象：医療関係者（今回は報道対応はありません）

進行：加藤康幸（国際感染症対策室）

セッション1：最近の話題から

「ジカウイルス感染症の流行と感染予防」（20分）

国立国際医療研究センター国際感染症センター 山元佳

「東京における梅毒の流行状況」（20分）

東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長 西塚至

【質疑】

セッション2：事例から学ぶ母子感染の問題

「先天性トキソプラズマ疑い症例の相談の実際」（20分）

国立国際医療研究センター 片浪雄一

「妊婦の梅毒症例のマネジメント」（20分）

国立国際医療研究センター 産婦人科 中西 美紗緒

【質疑】

参加希望者は【氏名・職種・所属・連絡先メールアドレス】メールにてお申し込みください。定員になりしだい受付は終了させていただきます。2日以内（平日）に返信いたします。

主催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

事務局：国際感染症対策室

info-dcc@hosp.ncgm.go.jp FAX 03-3202-1012

